

資料館だより

CONTENTS

- 1 … TOPICS
- 2 … 展示活動報告／事業報告
- 3 … 資料館での雑感／平成24年6月～11月移管・寄贈資料
- 4 … 開催案内／資料館業務日誌／平成24年度入館者

TOPICS

坂根コマツ取締役会長が資料館特別講演会で講演

—若い人はガッツが大切。強みを磨いてこそ勝てる—



講演風景(坂根・コマツ取締役会長の講演を聴く参加者の皆さん)

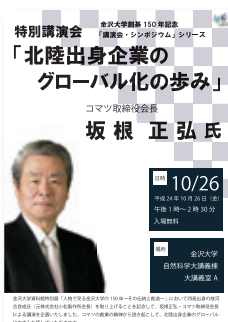
資料館では、10月26日、金沢大学自然科学大講義棟大講義室Aで、坂根正弘コマツ取締役会長を講師にお招きし、特別講演会「北陸出身企業のグローバル化の歩み」(金沢大学創基150年記念「講演会・シンポジウム」シリーズ第59回)を開催しました。

この特別講演会は、平成24年度資料館特別展「人物で見る金沢大学の150年～その伝統と創造～」において四高出身の故河合良成氏(元株式会社小松製作所会長)を取り上げたことを記念して企画したものです(P2に関連記事)。

坂根会長のご講演は、コマツという企業の紹介と自らの経験から始まり、トッパーリーダー論や世界規模のビジネスの在り方、そして日本の在り方にまで及びました。

理想のリーダー像を体現するかのような堂々たる話しぶりに聴衆は魅了され、刺激的な時間を過ごしました。

会場には約200名の教職員・院生・学生たちが集まり、満席状態でした。



特別講演会チラシ

展示活動報告

特別展

「人物で見る金沢大学の150年 ～その伝統と創造～」

会期 平成24年10月15日～11月16日 会場 金沢大学資料館展示室



特別展チラシ

金沢大学資料館ホームページ及び金沢大学学術情報リポジトリKURAで公開していますので、ぜひ一度ご高覧ください。

金沢大学学術情報リポジトリKURA
<http://hdl.handle.net/2297/32521>

金沢大学にとって、平成24年は、金沢大学の創基とされる加賀藩彦三種痘所の開設から150年の記念すべき年に当たります。

資料館では、この記念年の特別展として、本学の歴史を約50年ずつ遡って展示してきた過去3年間の特別展シリーズの集大成となる150年間の通覧展示を企画しました。特に、ご覧になられた学内外の方々に本学の伝統を具体的に実感してもらえよう、この150年間の歴史を彩った本学(前身校を含む)出身者・教員等の人物に焦点を当てたもので、国定教科書『尋常小学算術』や『蜀丞相諸葛武侯祠堂碑拓本』などの珍しい展示品約50点とパネル約100枚で紹介しました。

なお、本特別展図録は、



特別展を視察する中村学長



第10回国際数学者会議(昭11.オスロ)で好評を博した『尋常小学算術』(通称 緑表紙)

写真展

「よみがえる城内キャンパス」

会期 平成24年11月1日～11月14日 会場 金沢城公園鶴の丸休憩所



写真展チラシ

資料館では、平成24年も金沢城公園内の鶴の丸休憩室の一角を借りて、城内キャンパス(正式には丸の内キャンパス)時代の写真展を開催しました。

本写真展は、毎年「金沢大学ホームカミングデイ」の開催日(平成24年は11月10日(土))に併せ実施しているもので、卒業生の皆さんが、懐かしい城内で、当時の思い出に浸っていただくことを目的に企画しています。



写真展「よみがえる城内キャンパス」展示会場で、懐かしい写真を見つめる来場者

事業報告

金沢大学資料館紀要創基150年記念別冊

「金沢大学の淵源—加賀藩医学館から甲種医学校まで、および石川県啓明学校・石川県専門学校—の歴史—」(金沢大学名誉教授 板垣英治著)の発行

本事業は、平成23年11月に実施した資料館特別講演「金沢大学の150年の歴史をふりかえり～加賀藩医学館、石川県甲種医学校、石川県専門学校～」(150年記念事業の一環として開催)

で、板垣名誉教授が話された講演原稿に、ご本人が大幅加筆し、冊子として発行したものです。

本書は、同氏がここ10年の歳月を費やして研究されてきた成果をまとめられたもので、今後の金沢大学史編纂の基礎となるべき貴重な文献です。

なお、本紀要別冊は、金沢大学資料館ホームページ及び金沢大学学術情報リポジトリKURAで公開していますので、ぜひ一度ご高覧ください。

金沢大学学術情報リポジトリKURA
<http://hdl.handle.net/2297/32635>



金沢大学資料館紀要創基150年記念別冊



講演中の板垣英治氏

学生から見た資料館



【整理中の「宗門送り状控え」と「新刻日本輿地路程全図」】

【写真奥】「宗門送り状控え」(文政11年(1828)～明治5年(1872))

宗門送り状は、江戸時代において幕府が人口移動などを管理する方法として行った(現在の住民登録のようなもの)。冠婚葬祭や奉公の際に生家の寺から移動先の寺へ届けなくてはならなかった。

【写真手前】「新刻日本輿地路程全図」(寛政3(1791)年, 浪華 淺野弥兵衛發行)

伊能忠敬が中心となって完成した「大日本沿海輿地全図」(文政4(1821)年)から遡ること30年前に作られたものである。木版刷りで彩色されており、加賀の部分には金沢、河北、松任などの地名が見られる。

資料館の仕事の難しさ、楽しさ。夏季休暇中に新収蔵資料の整理に携わったときに思ったことを端的に表した言葉です。整理の作業は想像していたよりも難しい作業でした。自分の専門である歴史分野の資料でも分類の仕方や資料名の記入などで考え込むのに、医学、自然科学、美術など多岐に渡る専門外の資料となると迷いはさらに大きくなる始末。果たして資料館の目録やカードとして不備のない相応しいものになっているのだろうか、気になります。職員さんも然りで、多くの仕事を抱えていて資料整理にはなかなか手が回らないうえに、専門知識においても決して何でもこなせるスーパーマンではなく、フォローしきれない部分も出てきます。資料館の抱える、人員、

特に専門職員の不足という現状も垣間見た気がしました。

とはいえ、資料館での仕事は自分にとって、とても刺激的なものでした。収蔵庫にはさまざまな収蔵品があり、そのどれもが好奇心をくすぐるものでした。今回の整理で主に扱った梅田家資料は、その大半が明治期のものですが、近世の金沢町人の一家が維新後に歩んだ軌跡を知ることができるものです。そこからは仕事、暮らしぶり、人との交流の様子などが自分の中でくっきりと浮かび上がってきたように思いました。

人の心を惹きつけるモノが数多くあり、今回整理した史料のように、今も現在進行形で新しい資料が収蔵されていく資料館。資料の保存環境が今以上

に充実したものになり、地域貢献という現在の大学の役割という意味も含めて今以上に強く情報が発信され、そして1人でも多くの方にみてもらい、モノの持つ力を感じてもらいたい、そう思わずにはいられませんでした。

今度の企画展では梅田家資料が中心に展示されるとのこと(P4「開催案内」に関連記事)。興味のある方もない方も、まずはこの貴重な資料から見に来てみませんか。

人間社会環境研究科人文学専攻(日本史学)M1
(小酒井 達也さん)

資料館の仕事は、学内外の皆様のご理解があつて初めて円滑に進むことも多く、関係の皆様方のご支援・ご協力に改めて感謝申し上げます。

平成24年6月～11月
移管・寄贈資料

今期も多くの方々から貴重な資料の数々を寄贈していただきました。当館にて大切に保管し、貴重な資料として活用させていただきます。改めて感謝申し上げます。

(平成24年度第2回資料館委員会(24.11.16開催)承認)

寄贈

- 東宮行啓記念写真帖(明治42年12月発行)
- 第四高等学校第二部乙組入学時(明治41年)、卒業時(明治44年)集合写真
- 寮の仲間と撮影した集合写真(明治41年～44年) (計12点)
大原尚子氏
(前田源吉氏(明治41年入学, 明治44年卒業)の御令孫)
- 大野清氏(金沢大学初代事務局長)の写真データ (3点)
齋藤彰人氏(大野清氏の御令孫)
- 四高創立記念手拭い(年次が異なるもの11点)、四高校章入りのシガレットケース、ネクタイピン及び学生服金ボタン、四高校章と琴路灯籠のバックル、こけし(超然の華)、絵葉書、レコード、アルバム、その他同人誌、同窓会名簿等々高瀬正三氏旧蔵コレクション (計77点)
高瀬裕章氏
(高瀬正三氏(昭和9年入学, 昭和12年卒業)の御子息)



年次が異なる11種の四高創立記念手拭い



四高校章と琴路灯籠のバックル



四高七十周年記念同窓会全国大会弁当の包装



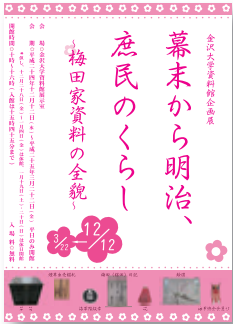
四高同窓会全国大会創立八十周年記念(版画絵はがき4枚入)

開催案内

企画展

「幕末から明治、庶民の暮らし～梅田家資料の全貌～」

会期 平成24年12月12日～平成25年3月22日 会場 金沢大学資料館展示室



企画展チラシ

本資料館では、平成24年の夏、「金沢大学資料館所蔵資料(モノ)の整備」事業の一つとして、「梅田家資料」の整理を行ないました。「梅田家資料」は、平成22年度に本資料館に寄贈されたもので、なかでも、幕末・明治期を生きた梅田甚三久の日記(『梅田日記』)は、唯一現存する幕末期の金沢庶民の日記として著名なものです。

また、整理の過程で発見された長久保赤水の「日本輿地路程全図」(別名「赤水図」)は、日本初の経緯線を使用した地図として学術的にも貴重な資料です。

本企画展では、今回の整理の過程で発見された当時の庶民の生活を知るうえで貴重な品々を中心に展示し、梅田家資料の全体像を学内外の人々に広く知っていただきたいと思っております。



「新刻日本輿地路程全図」(資料には、「寛政三年辛亥春正月」と記載されている)

資料館業務日誌

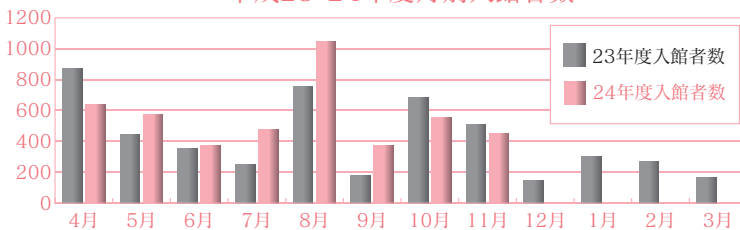
(平成24年8月～11月分)

7.9)～9.28	企画展「解剖図の美—医学解剖図と明治期の掛図—」
8.2	文部科学省松尾学生・留学生課長来館
8.7	平成24年度第5回ヴァーチャル・ミュージアム打合せ
8.9～8.10	ミュージアム・ツアーの実施(オープンキャンパス対応)
8.21	地下収蔵庫内壁面の補修
8.25～8.26	燻蒸作業の実施
9.3～9.7	平成24年度アーカイブズ研修Ⅰ(国立公文書館)
9.5	平成24年度第6回ヴァーチャル・ミュージアム打合せ
9.7	放送大学学園大西理事来館
9.21	「金大30の会」(教育学部30年卒同窓会)一行(22人)来館
9.21	「資料館だより(第39号)」発行
9.24	スマラン国立大学訪問団来館
10.3	平成24年度第7回ヴァーチャル・ミュージアム打合せ
10.12	資料館紀要創基150年記念別冊「金沢大学の淵源」発行
10.15～11.16	特別展「人物で見る金沢大学の150年—その伝統と創造—」
10.15	学長特別展視察
10.26	6大学教養教育代表者会議出席者(約20名)来館
10.26	資料館特別講演会「北陸出身企業のグローバル化の歩み」
11.1～11.14	写真展「よみがえる城内キャンパス」
11.3～11.4	臨時開館(金大祭対応)
11.7	平成24年度第8回ヴァーチャル・ミュージアム打合せ
11.10	臨時開館(金沢大学ホームカミングディ対応)
11.12	名大博物館野崎ますみ氏来館(教育掛図及びキノコのムラージュ標本の調査)
11.12～11.14	ミュージアム・ツアーの実施
11.13	平成24年度石川県博物館協議会実務担当者会議(石川県七尾市)
11.16	平成24年度第2回資料館委員会
11.30	総合研究大学院大学柳生修二調査・監査主幹来館
11.30	平成24年度第1回紀要編集委員会
11.30	「金沢大学資料館紀要(第8号)」論文募集案内

平成24年度入館者

(平成24年4月～11月分)

平成23・24年度月別入館者数



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
23年度	872	447	355	252	753	179	683	508	146	302	270	164	4,931
24年度	639	577	375	474	1,050	373	552	448	-	-	-	-	4,488

お知らせ

平成23年度の資料館特別展「金大事始」で作成したパネル34点が、金沢大学医学部の歴史に関する教育・啓蒙の一環として、2012(平成24)年12月から2016(平成28)年3月(予定)まで、「医学類教育棟2階展示スペース」で展示されることとなりました。ぜひ一度ご覧ください。

編集後記

本誌紙面トップでも取り上げたが、坂根コマツ取締役会長が講演中で述べられた「強みを磨いてこそ勝てる」の言が心に響いている。

私ごとで恐縮であるが、情報公開法施行時、開示請求者から、本学の文書管理の拙さを再三指摘され困憊した。折しも、文科省が行政文書の電算化を進めていたことや文書管理の担当を併せ持ったことから、これを機に、本学の文書管理に関する規程等の見直しやシステム化を試みた(この規程等々は、公文書管理法の施行に伴い廃止となった)。

馬齢を重ねた今、この貴重な経験(当時は悪夢に感じられた?)が強みとなり、業務に役立っている。人生、何が幸い(勝ち)に転ずるか判らない。

(井川俊昭)

金沢大学資料館だより 第40号 平成25年1月24日発行



【発行/編集】 金沢大学資料館

〒920-1192 金沢市角間町
TEL 076-264-5215 FAX 076-234-4050
Mail museum@adm.kanazawa-u.ac.jp
<http://museum.kanazawa-u.ac.jp>